

新規現場のご紹介

軽費老人ホームA

7/1より、夜間宿直業務がスタートしました。入居者の方は20名程の規模となります。夜間の施設内巡回、鍵の施錠・開錠業務、入居者様のリクエスト対応が主な業務となります。施設内では、四季に応じてイベントが催され、入居者様が楽しめるような取組がなされております。また系列病院、特養施設も隣接しておりトータルサポート体制も充実した施設となっております。ピアサービスとしてもその一員として入居者様一人一人が快適な生活を送れるよう業務に努めてまいります。（写真左から木村さん、福田さん）



改善提案委員会より

改善提案優秀者

スタッフの皆様には日々「誠意と努力」で各現場で頑張ってもらい、有難うございます。昨年度実績の報告。提案件数は、年間320件を（目標300件/年）となりました。目標を大きく上回る提出を頂き、感謝申し上げます。最多提案賞については、本社村田課長（24件）、A会館の高橋和子スタッフ（23件）として表彰させて頂きました。また、優秀提案として、オフィスビルHの池田政司所長を表彰させて頂きました。今年度も引き続き、皆様からの提案をお待ちしております。（写真左から村田課長、社長、池田さん、高橋さん）

安全委員会より

皆様お疲れ様です。暑い時期がやってまいりました、以下に熱中症の症状と予防、応急処置方法、救急車を呼ぶ基準を記載しています。

症状が現れた方は無理せず休憩をとり、熱中症に気を付けて作業してください。

熱中症の症状

レベル1 初期段階

- ・めまい、立ちくらみ
- ・筋肉痛、筋肉の硬直
- ・汗をふいてもふいても汗が出る

レベル2 進行段階

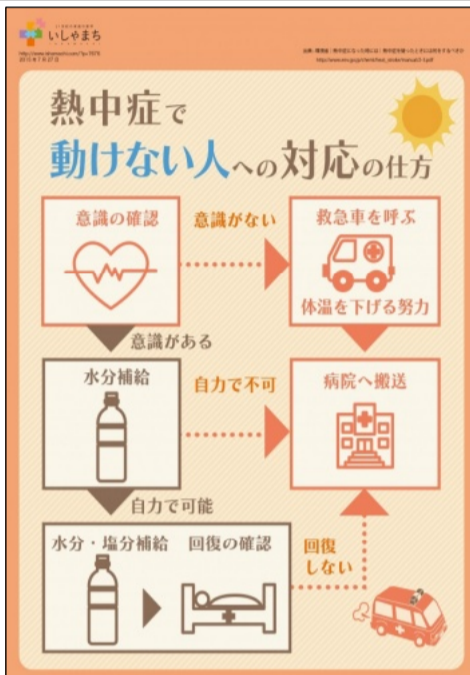
- ・頭痛、不快感、
- ・吐き気、嘔吐、
- ・倦怠感、ぐったりする

レベル3 重症

- ・意識障害（呼びかけに対して反応がおかしい）
- ・運動障害（普段どおりに歩けない）
- ・体を触ると熱く感じる

熱中症の予防

- ・暑さに慣れるように適度な運動
- ・運動中はこまめに水分補給（真夏の激しい運動時は1時間に1リットル）
- ・熱を蓄積しないような服装
- ・外出では、できるだけ日陰を選ぶ



熱中症の応急手当

- 涼しい場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる。
- エアコンをつける、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やす。
- 脇の下・太もものつけねなどを冷やす。
- 飲めるようであれば、水分を少しずつ頻回に取る。

自分で水が飲めなかったり、脱力感や倦怠感が強く、動けない場合や、意識がない（おかし）、全身のけいれんがあるなどの症状を発見された方は、ためらわずに救急車を呼んでください。

※参考文献「熱中症を予防して元気に夏を！」（総務省消防庁）



品質委員会より

ウォシュレット清掃について

ウォシュレットの洗浄ノズルや脱臭フィルターを清掃していない現場があります。

洗浄ノズル

ノズルの清掃がされていない為、汚れが詰まりの原因になります。

操作ボタンで「ノズル洗浄」を押すと洗浄ノズルが自動的に出て、自動で洗われる機器もあります。ボタンが無い場合は手で引き出して洗浄する方法になります。



脱臭フィルター

機器によってフィルターがついている場所も異なりますがホコリで詰まっていると脱臭効果がなくなります。こまめな点検が必要です。



洗浄ノズルも脱臭フィルターも便器を洗浄する際に一緒に確認するようにお願い致します。

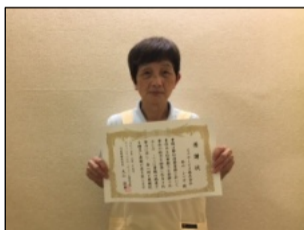
点検や清掃方法がわからない場合は管理担当者へご相談下さい。

感謝状案内

神戸市西区K社

取引先である神戸市西区K社様より、6/15にスタッフ3名（西山レツ子さん、川端和子さん、山中沙由香さん）が感謝状を頂きました。平成28年度は先方の社内改修工事が多く、日常清掃が通常通り行にくい状況の中、臨機応変に対応して頑張ってもらった事、また3名の普段からの努力を評価されたことにより表彰されました。

会社として大変誇らしいことです。3名の方々、ありがとうございます。引き続き、よろしくお願い致します。（写真上段左から山中さん、川端さん、写真下は西山さん）



A会館

A会館の館長様より日常清掃についてお褒めの言葉を頂いております。

清掃の仕上がりがよく利用者アンケートでも「施設の清潔さ」を挙げている方も多くスタッフの努力の結果ですと仰られています。

竹内恵美子さん、高橋和子さん、藤原早苗さん、山田千恵子さん、高澤ますみさん、水島秀美さんの6名のスタッフ皆様、有難うございます。

今後も更なる品質の向上を目指し頑張ってください。

総務部より

日頃のご勤務、お疲れ様です。

最近暑い日が続いていますが、皆さん体調はいかがでしょう。当社でも数件、熱中症で体調を崩された方もいます。屋外・屋内作業を問わず、定期的な水分補給と休憩を取るようして下さい。（詳しくは安全委員会の記事をご覧ください）

また、ご自身の病による休職も数名出ています。健康な体は元気の源であり、活力ある仕事や充実した私生活も送れると思いますので、日々の体調管理と年1回の定期健診を受診し、ご自身の体のメンテナンスをよろしくお願いいたします。

「日本一の職場づくり」

2017年07月26日
ピアサービス 株式会社
代表取締役 岸本 吉充

皆さん お元気ですか？

日頃は各現場・持ち場、それぞれの部署で企業理念の下、心のこもった誠実なサービスをお客さまにお届け下さり、心より感謝しています。有難うございます。

今年も例年以上の猛暑、酷暑が続き、厚く厳しい日々が続いています。例年以上に有意、注意で熱中症対策には取り組んで頂きたいと思えます。

また、梅雨明けしたとは言え、昨今の異常気象による影響で、局地的なゲリラ豪雨等による自然災害がいつ発生するか分かりません。

北九州地方で避難を余儀なくされた被災者の皆様には、心よりお見舞い申し上げますと共に、我々も、もしもこういった自然災害等が発生した場合には、どのように行動すべきか？何を準備しておくべきか？我が身、親、子、家族、友人等を守る為にも有事の前に確認して頂く必要があります。

今回は「日本一の職場づくり」と題しておりますが、

私は、「働きがいのある職場づくり」を提供し「日本一の職場づくり」の為には、どうすれば良いかということテーマに日々取り組み、追求しております。

人は仕事をしていてどんな時に一番嬉しく思うか？

それは、業種業態に関係なく一致しているのは「お客様に喜ばれたとき」だと思います。

お客様からの「ありがとう」という感謝の言葉を頂くことが何よりの嬉しさであり、それが充実感、達成感に繋がり、それが働きがいに繋がるのではないのでしょうか。

「ほんとうにありがとう」と言って喜ばれる為には、どうすれば良いか？

それは、「人生・仕事の結果 = 考え方 × 熱意 × 能力」の方程式（注釈1）に答えはあると思えます。

すなわち、大事なものは自身が持っている能力ではなく、その考え方です。

どうしたら「ほんとうにありがとう」と言ってくれるか？ということをもド真剣に考える職場づくりが「日本一の職場づくり」の近道になるのではないのでしょうか？

「人の喜びを我が喜びとする」

思想家の中村天風さんは、これは人間だけが味わえる尊い心であり、人を幸福にすることが本当の喜びであり、仕事の目的はここにあると言っています。

すべての考え方、行動がお客様の「ほんとうにありがとう」に繋がるようになれば、日本一の職場に限りなく近づくとおもいます。

明日から皆で新しい心で日本一の働きがいのある職場に挑戦しましょう。

注釈1 「人生・仕事の結果 = 考え方 × 熱意 × 能力」の方程式については、ぴあだより43号（2016.10.26発行）にて詳しく説明しております。